

もシンプルになる上、明るさも格段に優るということである。

最終日は午前前半にアンジオグラフィ用小型光源、左右可変円偏光発生技術2件 (NSLS, CAMD)、短波長FEL2件 (NSLS, SLAC)、後半にコヒーレンスとその利用がテーマとなった。IBMのSpillerがコヒーレントX線の理論と応用の分かりやすいReviewをしたあと、Sutton (McGill U) がスペックル・パターンを用いたゆらぎの測定、McNully (APS) がホログラフィー、Gluskin (APS) がNSLS-X13Aでの干渉計実験の報告をした。

この会議のProceedingsは今年後半にはNorth-Holland Publ. からNIMの別冊で出版されるもようである。

この会議の祝賀行事は本会議とは別に、ワシントンのアメリカ歴史博物館で行われたバンケットでもあり、Bob Maddenがスピーチをした。その

中でMaddenは多年ウィスコンシンのTantalus I, Aladdinを建設、運営して数多くのユーザーに光を提供し、献身的に働いたEd Roweの功績を讃え、この年の秋、ミネソタ州立大からRoweに対し名誉学位が授与されることを公表し、盛大な喝采を受けた。これは彼の人柄とたゆまぬ努力、一貫してuser friendlyであった彼と彼のチームに感謝するusersの気持を伝えようと、今はミネソタ州立大の教授であるJohn Weaverとアイオワ州立大のDave Lynchの二人が発起人となって、米国内のみならず、国外の友人達にも賛同を求め、大学当局に働きかけて実現したものである。私もこの提案に賛同して学長宛の推薦状を送ったひとりであったが、多年報いられることを求めず、縁の下の努力を惜しまなかった先覚者の功を讃えるWeaverとLynchの二人の暖かい志と友情に強い感銘を受けた。

## ◁研究会報告▷

# UVSOR 10周年祝賀会および研究会

鎌田 雅夫 (分子科学研究所)

昭和58年11月10日に分子科学研究所のUVSORに放射光が出て10周年になりました。これを良き機会として、UVSORのこれまでを振り返ると同時に今後の研究の発展を期するために、平成5年12月3日に10周年記念祝賀会を開きました。第一部の記念講演会では、伊藤分子研所長の挨拶のあと、施設の現状(薬師)や光源の現状と

自由電子レーザー(磯山)についての現状報告が行なわれ、UVSORの10年の歩みを渡辺 誠氏(東北大)が懐かしいスライドを交えながら話され、最後に、関 一彦氏(名大)がSOR利用の将来と分子科学についての研究展望を披露されました。見学に引き続く第二部の記念パーティーでは、文部省をはじめ、ユーザー、他施設、学界な

どからの来賓の方々のご臨席, ご祝辞を頂き, また諸外国からの祝辞や祝電も披露され, いまさらながら放射光科学の国際的な発展を認識するものとなりました。約100名の参加をいただき, また事務官や技官の方々を交え, 長倉総研大学長の乾杯の音頭を合図に, ビール片手に放射光科学の過去現在未来についての話が賑やかに行なわれました。

翌日は恒例のUVSOR研究会が開かれ, 所内外のユーザーによって行なわれたUVSOR利用の成果が発表されました。また, 光源や観測系についての現状報告が行なわれた後, ユーザーズミーティングが持たれ, 今後のUVSOR利用についての話し合いがなされました。また, これを機会にBL-1Bと7Bのユーザーと施設職員のインフォーマルミーティングが持たれ, 現場での経験に基づいたVUVラインの利用方法について, 詳しい議論や情報交換が行なわれました。なお, プログラムの詳細は以下の通りであります。

#### 分子研UVSOR10周年記念祝賀会 (12月3日(金))

第1部 (記念講演会と見学) 研究棟101号室  
挨拶 伊藤所長 (分子研)  
UVSOR施設の現状 薬師施設長 (分子研)  
光源の現状と自由電子レーザー 磯山 悟朗 (分子研)  
UVSOR10年の歩み 渡辺 誠 (東北大)  
SOR利用の将来と分子科学 関 一彦 (名大)  
見学

#### 第2部 (記念パーティー) 職員会館1階

#### UVSOR研究会

日時 12月4日(土)  
場所 研究棟101号室

正イオン-負イオン同時計測法による  
N<sub>2</sub>Oからのイオン対生成 吉田 啓晃 (分子研)  
1-3価のCO分子イオンの解離ダイナミクス  
増岡 俊夫 (阪市大)  
内殻吸収測定によるアモルファスカルコゲナイド  
半導体の電子構造の研究 細川 伸也 (広島大)  
LaC<sub>6</sub>の光電子スペクトル 日野 照純 (千葉大)  
ホールドープしたSrLaFeO<sub>4</sub>の電子構造  
小俣 孝久 (東工大)  
水素結合結晶の高圧相転移とフォノン構造  
小林 融弘 (阪大)  
イオン結晶の時間分解発光分光  
松本 珠緒 (京大)  
SR光による蓄積フォトンエコー  
伊藤 寛 (香川大)  
カニグリセリン筋の時分割蛍光分光  
谷口美恵子 (名大)  
回折格子とCVDダイヤモンド鏡の反射率  
石黒 英治 (阪市大)  
固体表面に吸着したペンタ鉄カルボニルの光分解  
佐藤 真理 (北大)  
半導体材料におけるSR光照射効果  
吉田 明 (豊技大)  
有機金属を原料としたシンクロトン放射光照射  
によるZnTeのエピタキシャル成長  
緒方 敏洋 (佐賀大)  
放射光励起Siエッチング反応時における  
中性脱離種の検出 大橋 治彦 (分子研)  
Si(100)表面上のKとClの共吸着  
田中慎一郎 (分子研)  
光源報告 浜 広幸 (分子研)  
観測系報告 平谷 篤也 (分子研)  
ユーザーズミーティング